

令和7年度

第2回 高崎市群馬地域振興協議会 次第

日 時：令和8年1月19日（月）

午前10時30分～

場 所：群馬支所 3階 311会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

（1）群馬地域に関わる事業報告について

（2）群馬地域のまちづくりに関する意見について

4 閉 会

<配布資料>

資料1 群馬地域に関わる事業報告一覧

資料2 群馬地域のまちづくりに関する意見一覧

参考資料 令和6年度 高崎市決算の概要

群馬地域に関わる事業報告一覧

ページ	事業名	所 属 (支 所)
1～4	北谷遺跡保存整備事業	教育部文化財保護課
5～7	群馬中央第二土地区画整理事業	都市整備部区画整理課
8～9	主要地方道 前橋安中富岡線 (西毛広域幹線道路(高崎工区))道路整備事業	都市整備部都市計画課
10～13	堤下線街路事業	都市整備部都市施設課

群馬地域に関わる事業報告書

事務事業名	北谷遺跡保存整備事業	所属 (支所)	教育部文化財保護課
実施期間	平成12年度～全期	事業の種類	ソフト事業

【事業概要】

対 象	史跡指定地の保存整備		
実施目的	具体的手段	そ の 他	
国指定史跡北谷遺跡(平成17年7月14日指定、令和2年3月10日追加指定)を適切に保存・管理するとともに、市民共通の歴史遺産として活用を図る。	市民共有の歴史遺産である北谷遺跡を後世に伝えていくために、史跡地の公有地化や内容確認発掘調査を進める。	指定面積 3.8ha 平成12～15年度 史跡範囲確認調査 平成16年度 調査報告書刊行 平成23年度 保存管理計画策定 平成28年度～ 公有地化 令和5年度～ 史跡内容確認発掘調査	

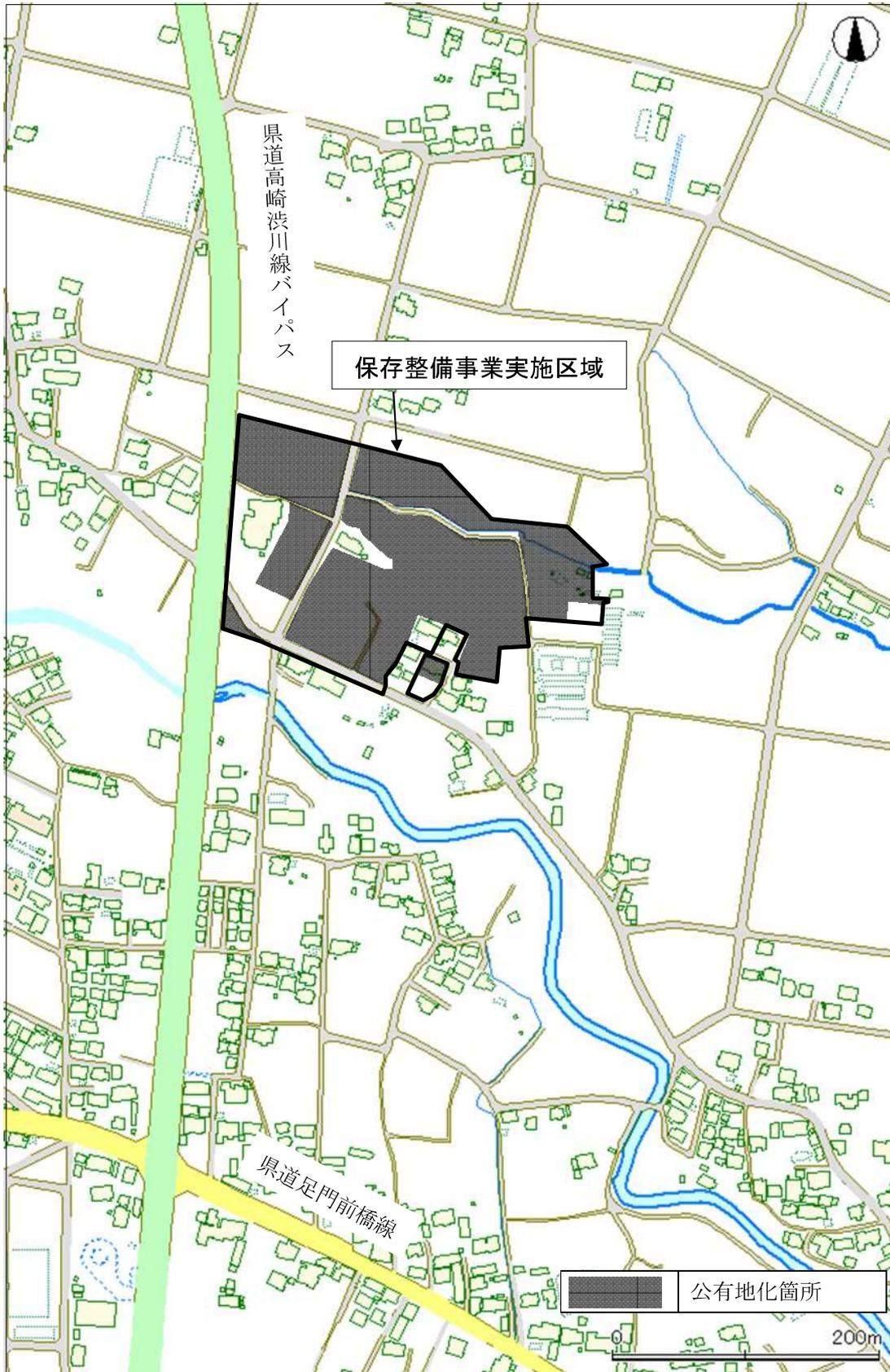
【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算額	令和6年度事業実績
合計	5,572	5,565	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡地の発掘調査 ・史跡地(既取得地)の除草管理 ・11月17日に発掘調査報告会開催
国	1,721	1,721	
県	516	0	
地方債	0	0	
その他	0	0	
一般	3,335	3,844	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	現計 予算額	令和7年度事業進捗状況
合計	5,482	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡地の発掘調査 ・史跡地(既取得地)の除草管理 ・10月5日に発掘調査説明会開催
国	1,646	
県	493	
地方債	0	
その他	0	
一般	3,343	

北谷遺跡保存整備事業用地



令和7年度 史跡北谷遺跡発掘調査現地説明会

北谷遺跡

北谷遺跡は、高崎市引間町・冷水町二丁目5世紀後半（古墳時代）に築かれた首長居館跡です。

範囲確認調査の成果等から、同じく首長居館である三ツ寺I遺跡と同規格で設計された居館跡として注目されます。

平成12年に発見され、平成17年には国史跡に指定されました。



北谷遺跡遠景(右奥に榛名山) 南東→

◎これまでの発掘調査成果

☆旧群馬町教委による発掘調査

平成12年の民間開発に伴う試掘調査と追加の確認調査を経て、平成14年から16年にかけて範囲確認調査を実施しています。

その結果、次のことが分かりました。

北谷遺跡は、居館本体が一辺約90m四方の方形を呈し、周囲に人工的に掘削された堀を持ちます。居館本体は厚さ約1mの盛土により造成され、周囲に石積みが築かれ、土により造成され、周囲に石積みが築かれます。居館の各辺にはそれぞれ2ヶ所の張り出しがつく（南辺は未確認）他、北西隅には大型張り出し、北東隅に土橋状施設など各施設が存在します。居館の外、西側の西側には盛土造成による外堀があり、居館と併せて整備されたものと考えられます。

また、居館本体内部では一辺約13mの大型盛土建物が見つかりました。この建物は居館の重要な施設であったと推測されます。

☆高崎市教委による発掘調査

令和5年度には、発掘調査に先行して、早稲田大学の協力で地中レーダー探査を実施しました。その解析結果を参考にしながら、令和5年度より居館本体の発掘調査を行っています。

令和5・6年度の調査では以下の成果がありました。

- ・居館本体の外縁に堀を巡らせたと考えられる外周柵列の痕跡を確認（西柵列・北柵列）
- ・居館の内部空間を大きく南北に区画する東西走向の中央柵列の一部を検出
- ・大型盛土建物に渡来集団との関わりが想定されるL字形カマドが備わっている

☆令和7年度の調査成果

令和7年度は、外周柵列のうち、東柵列に照準を絞って調査を行いました。その結果、すべてのトレンチで東柵列の痕跡を確認しました。

このことにより、これまでの調査で判明していた西・北の各外周柵列とともに東側にも柵列があることが明らかとなりました。また、この成果は地中レーダー探査の解析結果とも符号するため、レーダーの信頼性が高まったと言えます。



写真2. R7-1T 東柵列 (S004) 検出状況 東→



写真6. R7-3T 東柵列 (SA04) 検出状況 北東→



写真8. R7-4T 東柵列 (SA04) 断面確認状況 北西→



写真1. R7-1T 東柵列 (S004) 検出状況 北東→



写真3. R7-2T 東柵列 (S004) 検出状況 南→



写真5. R7-4T 東柵列 (SA04) 検出状況 南西→

令和7年度 史跡北谷遺跡発掘調査現地説明会資料

令和7年10月5日発行
高崎市教育委員会文化財保護課

群馬地域に関わる事業報告書

事務事業名	群馬中央第二土地区画整理事業	所属 (支所)	都市整備部区画整理課
実施期間	平成9年～令和15年度	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対 象	中央第二土地区画整理事業		
実施目的	具体的手段	そ の 他	
合理的な土地利用と公共公益施設の整備を進め、快適な住環境を備えた健全な市街地を形成する。	土地区画整理事業により整備する。	【施工面積】72.02ha 【総事業費】13,660 百万円 【事業進捗率】R6 年度末 62.9%	

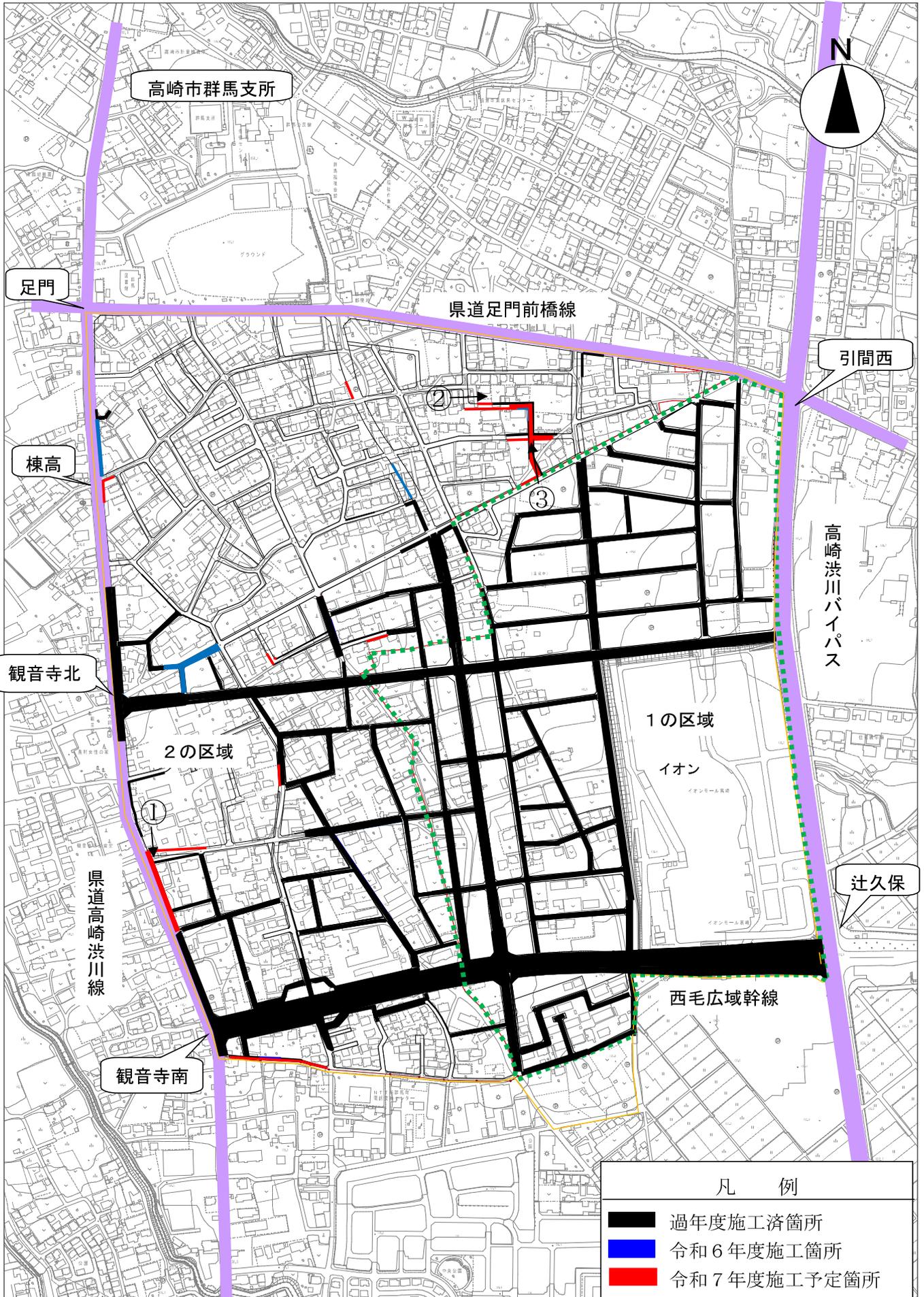
【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算額	令和6年度事業実績
合計	165,794	165,655	
国	65,729	65,729	
県	-	-	
地方債	48,800	44,300	
その他	19,672	21,734	
一般	31,593	33,892	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	当初 予算額	令和7年度事業進捗状況
合計	305,517	
国	135,040	
県	-	
地方債	60,000	
その他	93,723	
一般	16,754	

令和7年度 中央第二土地区画整理事業 位置図

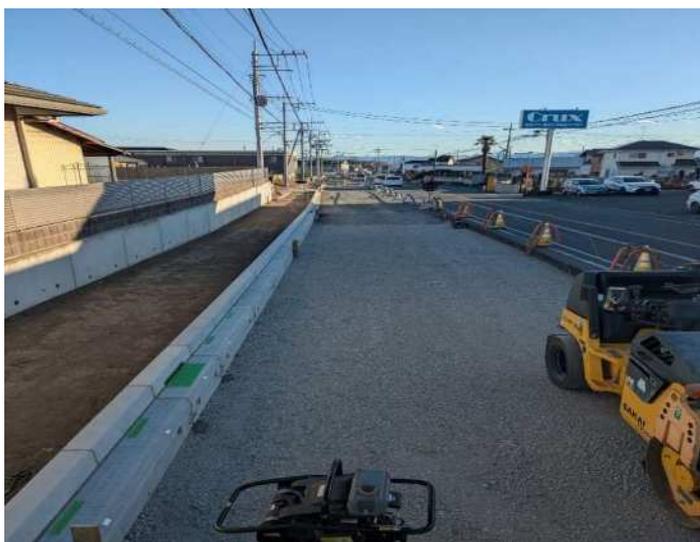


中央第二土地区画整理事業

令和7年度

① 都市計画道路 高崎渋川線

〔 撮影方向 〕
北から南



② 区画道路 6-104号線

〔 撮影方向 〕
西から東



③ 区画道路 6-104号線

〔 撮影方向 〕
南から北



群馬地域に関わる事業報告書

事務事業名	主要地方道 前橋安中富岡線(西毛広域幹線道路(高崎工区))道路整備事業	所属(支所)	都市整備部都市計画課
実施期間	平成26年度～令和13年度	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対象	実施目的	具体的手段	その他
	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、(主)前橋安中富岡線のバイパス整備を行う。これにより、移動時間短縮や渋滞解消の効果が見込まれる。	地区毎に説明会を実施し、地域住民とともに道路計画を策定した。 今後も用地補償契約、埋蔵文化財調査を進めるとともに、本工事を推進する予定。	全体延長 L=3,170m

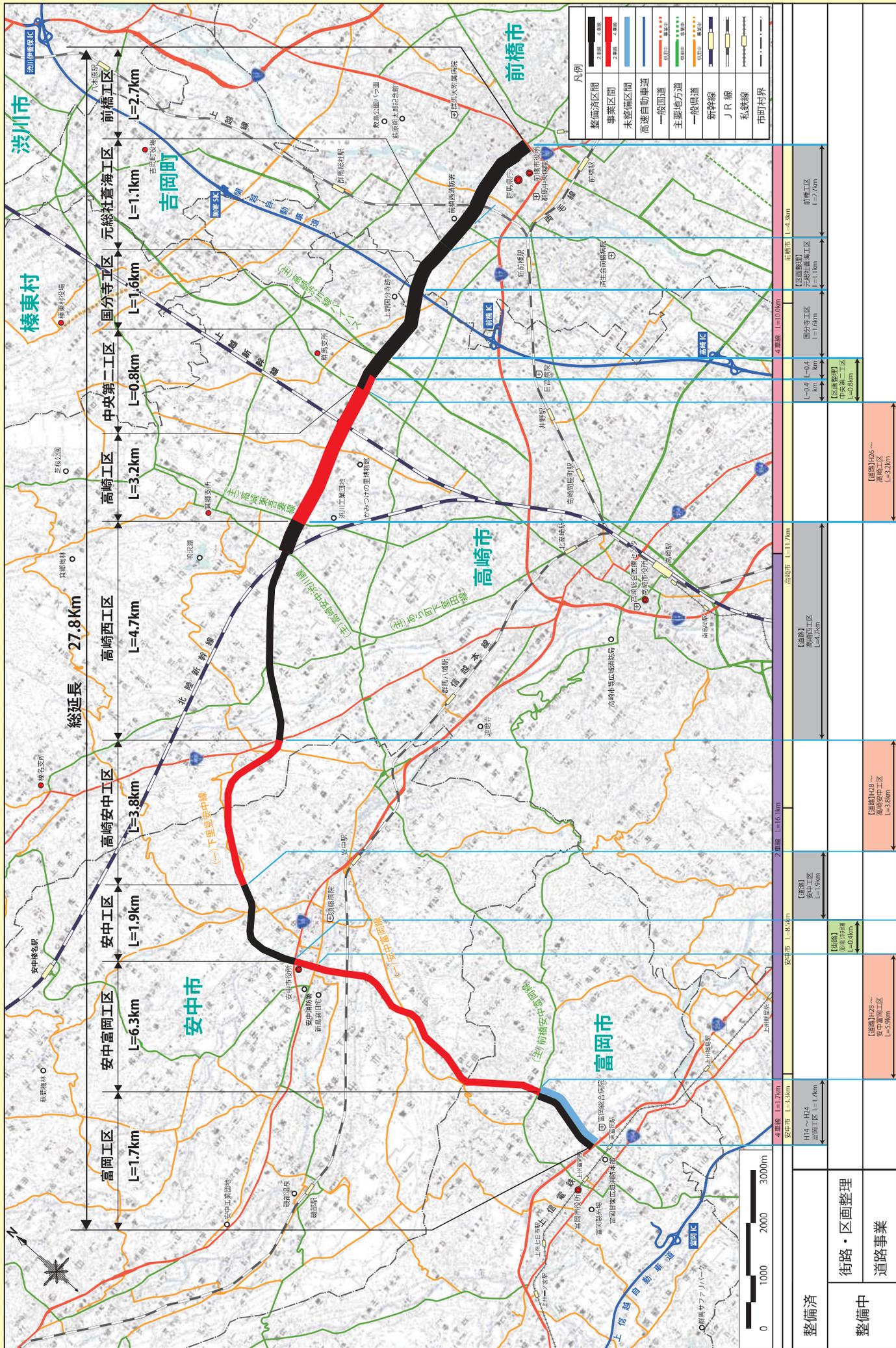
【事業実績】

区分(千円)	現計 予算額	決算額	令和6年度事業実績
合計	1,920,000	1,920,000	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線跨線橋(A1橋台、P1・P2・P3・P8橋脚)工事発注 ・天王川橋梁下部工工事(A1・A2橋台)工事着手 ・大清水川函渠工事 工事着手 ・井野川函渠工事 工事完成 ・東谷川函渠工事 工事完成 ・道路改良・補強土壁工事 一式 ・用地買収・用地補償 一式 ・埋蔵文化財調査 一式
国	1,030,050	1,030,050	
県	889,950	889,950	
地方債			
その他			
一般			

【事業進捗状況】

区分(千円)	現計 予算額	令和7年度事業進捗状況
合計	1,700,000	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線跨線橋(A1橋台、P1・P2・P3・P8橋脚)継続工事 ・新幹線跨線橋(A2橋台、P6・P7橋脚)工事発注 ・天王川橋梁下部工工事(A1・A2橋台)工事完成 ・天王川橋梁上部工工事 工事発注 ・大清水川函渠工事 工事完成 ・道路改良・補強土壁工事 一式 ・用地買収・用地補償 一式 ・埋蔵文化財調査 一式
国	850,000	
県	850,000	
地方債		
その他		
一般		

計画路線図



整備済	4重線	L=1.7km	4重線	L=10.0km	1重線	L=4.4km	前橋工区	L=7.0km
	H14～H24 高崎上区	L=1.6km	2重線	L=16.1km	高崎市	L=11.7km	高崎西工区	L=4.7km
整備中	4重線	L=3.3km	2重線	L=8.3km	安中工区	L=1.9km	高崎中工区	L=3.8km
	H14～H24 安中富岡工区	L=1.6km	【建設】	L=0.4km	【建設】	L=0.4km	高崎下工区	L=0.8km
街路・区画整理								
道路事業								

この地図は、国土情報院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000 (地図画像) 及び数値地図 50000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号平 26 情報、第 167 号)

群馬地域に関わる事業報告書

事務事業名	堤下線街路事業	所属 (支所)	都市整備部都市施設課
実施期間	平成20年度～令和10年度	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

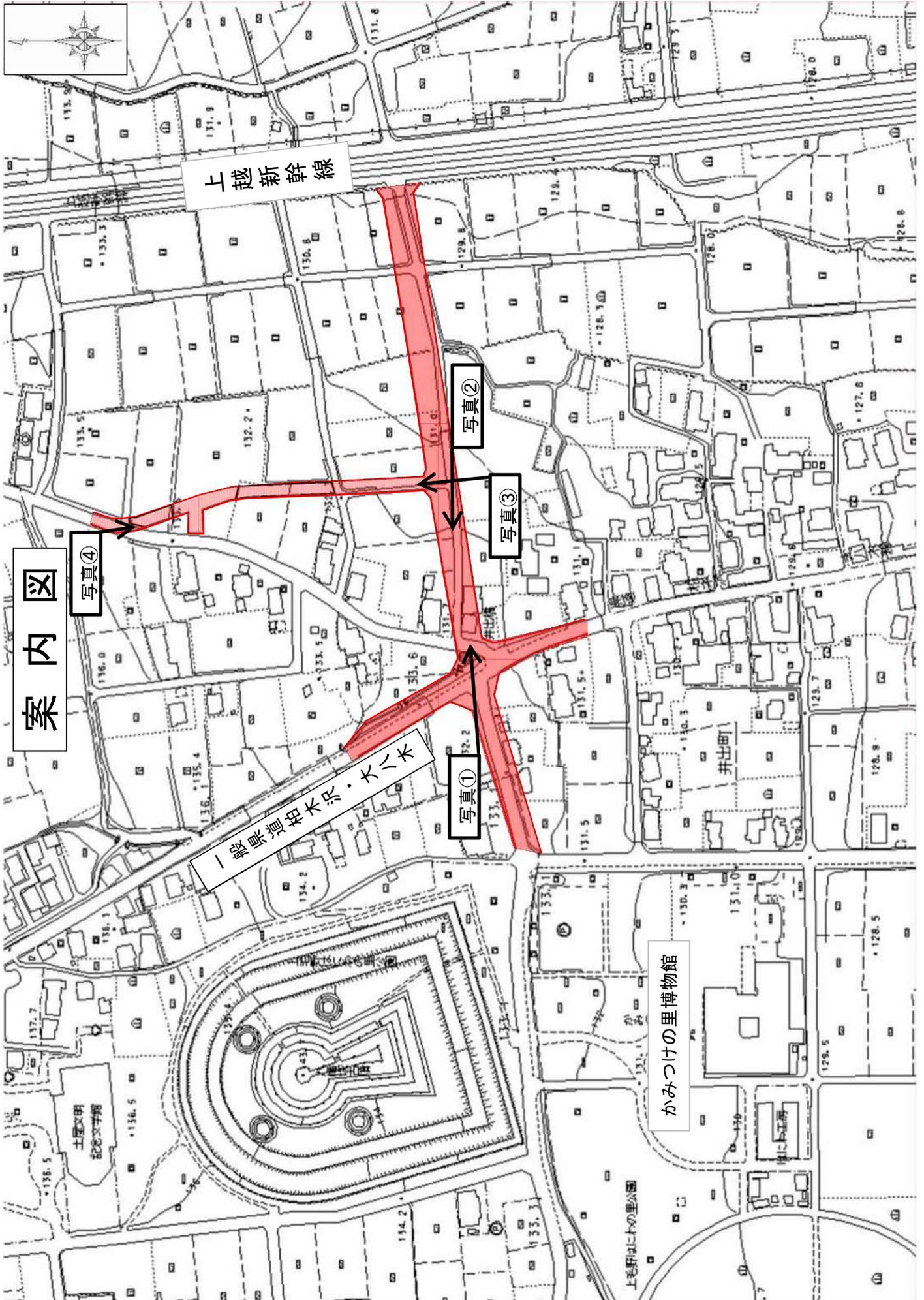
対 象		
実施目的	具体的手段	そ の 他
県道交差点は変則五差路のため、安全性向上と交通渋滞の緩和を目的として実施	用地買収方式	事業延長 400m 幅 員 12m 全体事業費 436百万円 事業進捗率 71.9%(令和6年度末)

【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算額	令和6年度事業実績
合計	3,550	330	・境界復元測量
国	1,600	—	
県	—	—	
地方債	1,440	—	
その他	—	—	
一般	510	330	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	現計 予算額	令和7年度事業進捗状況
合計	22,537	<ul style="list-style-type: none"> ・用地買収費 (完了) ・物件移転補償費 (完了) ・文化財調査 (完了) ・道路築造工事 (施工中)
国	11,000	
県	—	
地方債	6,800	
その他	—	
一般	4,737	



写真①



写真②



写真③



写真④



群馬地域のまちづくりに関する意見一覧

群馬支所 地域振興課

■ 群馬地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意見	回答
<p>1. 地域自警団について</p>	<p>広報高崎9月号に「地域の自警団編成とパトロール活動に財政支援します。」という記事が掲載されていたが、その具体的な内容を伺いたい。</p> <p>また、群馬地域でも進入窃盗犯罪の発生率や高齢化率が高くなりつつある。自警団を新たに編成する際や活動をしていく際に、行政側から助言が受けられるのか、あわせて伺いたい。</p>	<p>本市では、小学校区単位で自警団を編成し、パトロール活動を強化する地域に対し、財政面での支援を行うため新たに補助制度を創設した。</p> <p>具体的な財政支援としては、自警団編成時補助金としてパトロール強化体制を整えるために必要な物品や資材の購入に係る経費の助成として1団体1回に限り10万円を上限として助成する。</p> <p>また、自警団活動補助金として、徒歩や自転車等による防犯パトロール、青色回転灯装備車による防犯パトロール、消防団による夜間防犯パトロールの3つのパトロールについて強化期間を定め、集中的にパトロールを行っていただき、地域の犯罪抑止力の強化を図っていただくことで月額15万円を助成する。</p> <p>さらに必要があれば深夜パトロールを警備会社に委託するなどの経費として月額4万円、合計で月額19万円を上限として助成する。</p> <p>なお、自警団編成を検討している地域には、説明会などを開催するとともに、補助金申請に必要なサポートをするなど、自警団編成を推進していく。</p>

■ 群馬地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意見	回答
<p>2. ぐるりんタクシー・ぐるりんバスについて</p>	<p>地域の高齢者は、長寿センター等の公共施設に集い、明るく元気になれる交流を楽しみにしているが、群馬地域はおとしよりぐるりんタクシーが通っていないため、運転免許証を返納した高齢者は大変不便している。</p> <p>そこで、高齢化の進行に応じた、公共交通等の自家用車以外の移動サービスを確保できるよう、群馬地域においてもおとしよりぐるりんタクシーの運行や、ぐるりんバスをより多くの住民が使用しやすいような路線へ見直し等をしていただきたい。</p>	<p>(ぐるりんタクシーについて)</p> <p>高齢者の移動手段の確保は大きな課題と認識しており、特に、免許を返納した高齢者の方々が安心して外出できるよう、公共交通機関の充実は重要だと考えている。</p> <p>現在、市内15ルートを実行しているおとしよりぐるりんタクシーについては、高齢化率の高い地域において傾斜地の団地や独り暮らし高齢者数が多いなどの地域特性、地域内で利用できる公共交通手段が少ないなどの交通事情、さらにスーパーマーケット等の店舗がないなどの地域事情などを考慮して選定している。</p> <p>今後の新規ルート創設については高齢化率等の地域特性や地域の交通事情、さらに地域からの御要望や市全体の財政状況なども考慮しながら検討していきたい。</p> <p>(ぐるりんバスについて)</p> <p>公共交通の整備については、鉄道や民間バス路線などの基幹となる公共交通をはじめ、これらを補完するコミュニティバスやおとしよりぐるりんタクシーなどの活用により、市民の多様な移動手段を整備し、市内公共交通ネットワークの形成と維持確保に努めている。</p> <p>群馬地域については、高崎渋川線やイオンモール高崎線などの南北に運行している路線や、前橋金古王塚台線や前橋土屋文明線などの東西に運行している路線、合計8路線の民間路線に加えて、これらを補完する路線としてぐるりんが3路線運行しており、11路線のバス路線</p>

		<p>が運行されている公共交通網が充実した地域と認識している。</p> <p>ぐるりんの路線見直しに関しては、既存の民間バス路線との関係性や費用対効果も考慮した上で、地域における移動需要や利用状況などを勘案して検討すべきものと考えている。</p>
--	--	---

■ 群馬地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意見	回答
<p>3. 居場所づくり事業について</p>	<p>夏休み期間に初実施していただいた「居場所づくり事業」に大変共感した。冬休み期間も実施していただき、働く保護者の大きな支えとなり心より感謝している。この居場所づくり事業は地域の活性にもつながっていくと思う。</p> <p>新聞記事にも掲載されていたが、引き続き春休み期間も検討してくださるとのことで、ぜひ実施をしていただきたい。また、実施場所の拡大につきましても期待している。</p>	<p>「居場所づくり事業」は、授業日は放課後児童クラブに通わせる必要はないが、長期休業期間のみクラブへの入所を希望する小学生の保護者のニーズに対応するため実施した事業である。</p> <p>市内6か所で「夏休みの居場所づくり事業」と「冬休みの居場所づくり事業」を実施し、夏休みは市全体で202人、冬休みは67人の申込みがあった。</p> <p>既存の放課後児童クラブについては、支援員の確保などに課題があり、直ちに長期休業期間の受入れ体制を整えられない事情があるため、市が補完的に本事業を実施している。市内すべてのクラブが長期休業期間の受入れ体制を整備するには一定の時間を要するため、本年度の春休みについても事業を継続して実施する予定である。</p> <p>本事業は、市内クラブの受入れ体制が整うまでの間、市が補完的に対応するものと捉えているため、実施場所の拡大については、今後必要性も含め研究していきたい。</p>

令和6年度高崎市決算の概要について

- 1 令和6年度の「一般会計」と「各特別会計」の決算は下表のとおりとなりました。
 「一般会計」の歳入は1,833億6,222万円、歳出は1,770億3,789万円で、歳入・歳出の款別構成状況は、2ページ・3ページのグラフのとおりです。
 なお、表中の各金額は万円未満を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

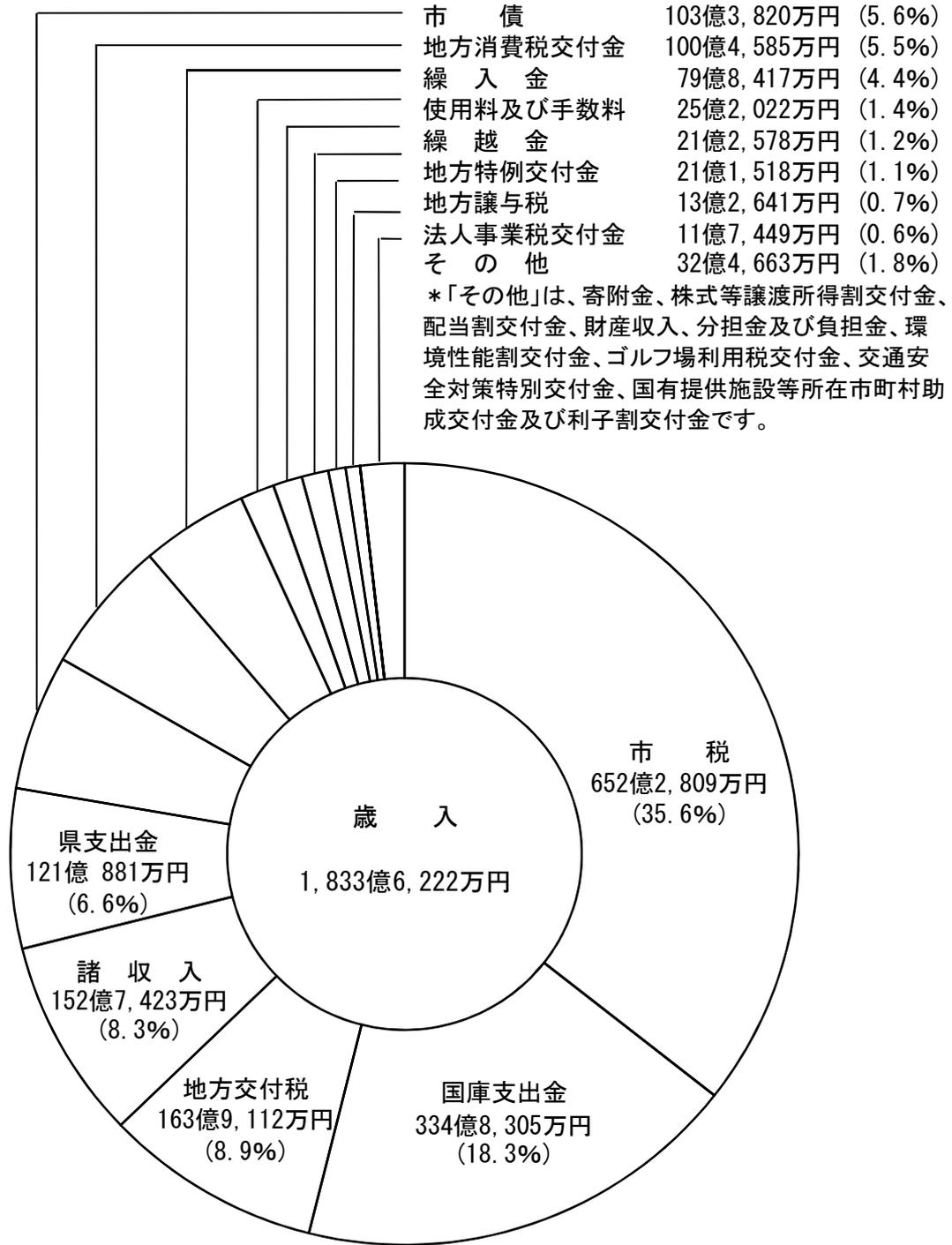
一般会計・各特別会計歳入歳出決算一覧表

(単位：万円)

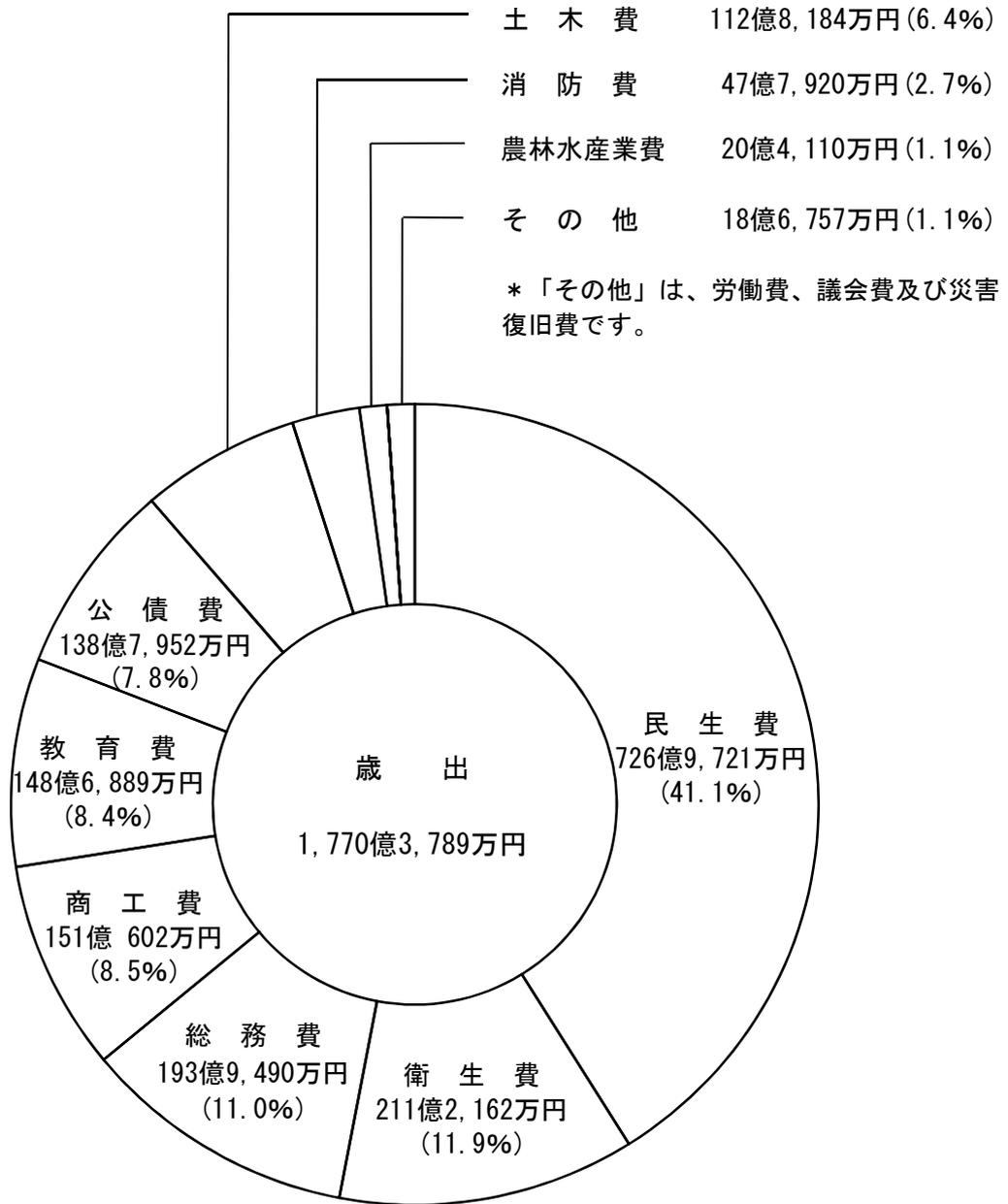
区 分	当 初 予 算 額	決 算 額	
		歳 入	歳 出
一 般 会 計	1,682億9,000	1,833億6,222	1,770億3,789
特 別 会 計	778億4,825	800億9,615	792億4,250
国民健康保険事業	341億 152	344億 491	342億 505
介 護 保 険	371億8,426	389億7,598	384億8,452
牛 伏 ド リ ー ム セ ン タ ー 事 業	1億2,533	1億7,448	1億5,226
母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 事 業	1億3,991	1億4,663	7,469
後 期 高 齢 者 医 療	61億8,758	62億7,945	62億1,515
農 業 集 落 排 水 事 業	1億 966	1億1,471	1億1,083
合 計	2,461億3,825	2,634億5,837	2,562億8,039

一般会計歳入・歳出決算額の款別構成状況

【歳 入】



【歳 出】



- ◎ 歳入決算額 1,833億6,222万円 (A)
- 歳出決算額 1,770億3,789万円 (B)
- 差引額 (A) - (B) = 63億2,433万円

※差引額のうち、翌年度へ繰越すべき財源として、繰越明許費繰越額の4億689万円を繰越し、さらに財政調整基金へ40億円積み立て残りの19億1,744万円を翌年度への繰越金としました。

2 普通会計による決算状況

※普通会計とは、他の地方公共団体（県や市町村）などと比較しやすいように、「一般会計」と「特別会計のうち公営事業会計以外の会計」を総合してひとつの会計としてまとめ、全国共通の基準に調整した会計です。

歳 入

(単位：万円)

区 分	令和6年度			令和5年度		
		構成比	伸 率		構成比	伸 率
		%	%		%	%
1 市 税	652億2,809	35.6	△0.1	653億1,221	35.2	1.6
2 地方譲与税	13億2,641	0.7	1.0	13億1,316	0.7	0.9
3 利子割交付金	2,434	0.0	36.3	1,785	0.0	△17.8
4 配当割交付金	4億8,371	0.3	44.6	3億3,459	0.2	19.0
5 株式等譲渡所得割交付金	6億5,393	0.4	54.3	4億2,388	0.2	98.2
6 法人事業税交付金	11億7,449	0.6	11.6	10億5,268	0.6	8.7
7 地方消費税交付金	100億4,585	5.5	4.1	96億4,951	5.2	△0.1
8 ゴルフ場利用税交付金	9,828	0.1	△2.3	1億 64	0.1	△10.5
9 自動車税環境性能割交付金	1億8,847	0.1	1.7	1億8,531	0.1	28.5
10 国有提供施設等助成交付金	2,489	0.0	△5.3	2,628	0.0	△4.2
11 地方特例交付金	21億1,518	1.2	356.0	4億6,385	0.3	0.5
12 地方交付税	163億9,112	8.9	7.4	152億6,559	8.2	5.8
普通交付税	142億3,715	7.7	8.4	131億3,128	7.1	6.8
特別交付税	21億5,397	1.2	0.9	21億3,431	1.1	0.2
13 交通安全対策特別交付金	6,606	0.0	△7.1	7,108	0.0	△7.9
14 分担金・負担金	3億6,148	0.2	△7.2	3億8,951	0.2	8.1
15 使用料・手数料	25億3,475	1.4	△0.6	25億5,099	1.4	1.4
16 国庫支出金	333億7,993	18.2	△0.1	333億9,994	18.0	△5.0
17 県 支 出 金	122億 634	6.7	4.9	116億3,802	6.3	5.4
18 財 産 収 入	1億9,732	0.1	△34.0	2億9,899	0.2	72.2
19 寄 附 金	10億 867	0.5	153.1	3億9,847	0.2	3.0
20 繰 入 金	79億6,858	4.3	12.7	70億7,272	3.8	32.9
21 繰 越 金	22億3,392	1.2	△28.8	31億3,546	1.7	△13.6
22 諸 収 入	153億9,765	8.4	△12.4	175億8,438	9.5	△9.4
貸付金元利収入	112億8,868	6.2	△20.0	141億 713	7.6	△10.7
23 市 債	103億3,820	5.6	△29.2	146億 620	7.9	40.8
合 計	1,834億4,764	100.0	△1.0	1,852億9,133	100.0	2.7

歳 出

(単位：万円)

区 分	令和6年度			令和5年度		
		構成比	伸 率		構成比	伸 率
		%	%		%	%
1 人 件 費	248億6,679	14.0	7.7	230億8,073	12.9	△2.5
うち職員給	142億 538	8.0	2.9	138億 971	7.7	1.9
2 扶 助 費	472億3,513	26.7	7.7	438億6,560	24.4	3.3
3 公 債 費	138億7,952	7.8	△2.1	141億7,772	7.9	0.1
4 物 件 費	240億6,144	13.6	5.6	227億9,113	12.7	△3.8
5 維 持 補 修 費	10億2,518	0.6	△32.3	15億1,395	0.8	△2.9
6 補 助 費 等	181億4,317	10.3	△5.1	191億2,048	10.7	△9.6
7 積 立 金	20億6,169	1.2	△14.6	24億1,526	1.4	16.9
8 投 資 ・ 出 資 金						
貸 付 金	110億8,093	6.2	△20.2	138億8,345	7.7	△10.8
うち貸付金	110億5,662	6.2	△20.2	138億5,875	7.7	△10.8
9 繰 出 金	134億3,500	7.6	1.9	131億7,953	7.3	3.3
10 普 通 建 設 事 業 費	212億6,253	12.0	△16.7	255億1,198	14.2	63.7
うち補助事業費	114億7,462	6.5	△25.6	154億3,021	8.6	131.3
うち単独事業費	97億8,790	5.5	△2.9	100億8,177	5.6	13.0
11 災 害 復 旧 費	—	—	皆減	1,758	0.0	△67.7
合 計	1,770億5,137	100.0	△1.4	1,795億5,741	100.0	4.0
歳 入 歳 出 差 引 剩 余 金	63億9,627	—	11.6	57億3,392	—	△24.9

3 令和6年度普通会計による県内他市との比較

(単位：万円)

区 分		高崎市	前橋市	桐生市	伊勢崎市	太田市
人口（R7.3.31現在）		364,634人	328,063人	100,513人	211,651人	222,763人
歳入総額		1,834億4,764	1,590億8,545	611億9,141	971億2,021	1,006億4,446
歳出総額		1,770億5,137	1,546億1,859	570億7,381	933億1,035	969億5,996
実質収支		59億8,938	36億 563	32億 783	31億4,020	26億7,590
実質収支比率		6.6%	4.5%	12.1%	6.7%	5.4%
経常収支比率		97.3%	94.5%	95.9%	96.7%	87.8%
地方債現在高		1,456億8,135	1,410億8,339	412億2,083	614億3,314	538億3,162
実質公債費比率		4.3%	7.9%	3.8%	5.2%	5.3%
将来負担比率		41.0%	55.5%	—	7.9%	25.6%
財政力指数		0.812	0.775	0.547	0.804	0.946
積立金 現在高	財政調整基金	42億5,868	86億6,766	45億 706	77億1,666	158億4,838
	減債基金	55億1,363	26億9,538	9億7,883	16億8,787	14億5,003
	その他	40億4,498	32億3,676	74億5,908	61億1,675	5億2,183

※用語の説明

実質収支	歳入から歳出を差し引いた額を「形式収支」といいますが、この「形式収支」から翌年度へ繰越すべき財源を差し引いた決算額のことをいいます。
実質収支比率	標準財政規模に対する実質収支の割合です。
経常収支比率	地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標です。一般財源収入額のうち経常的な経費に充当される一般財源の割合で、比率が高いほど財政運営が硬直化していると考えられます。
実質公債費比率	「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政の健全化を判断する指標の一つで、市債の元利償還金及びこれに準ずる経費の標準財政規模に対する比率です。この比率が25%以上になると早期健全化団体、35%以上で財政再生団体となります。
将来負担比率	「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政の健全化を判断する指標の一つで、地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。市町村では、350%以上になると財政の早期健全化を図ることとなります。
財政力指数	普通交付税の算定に用いる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の3カ年平均値で、数値が1に近いあるいは1を超えるほど財政力が強いとされています。
財政調整基金	突発的な災害や緊急を要する経費に備えるために設置された基金です。また、決算剰余金が多いときは積み立て、財源不足時に取り崩すという年度間の調整的な役割も果たします。
減債基金	市債（借金）の償還（返済）の増加に備えるために設置される基金です。公債費が他の経費を圧迫するような場合には、この基金を取り崩して公債費に充てます。